改訂日：　2025/01/06

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：鉄粉除去剤

製品番号（SDS NO）: 08874-K9002

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：鉄さび汚れの洗浄用

使用上の制限：推奨用途以外に使用しないこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

販売元：株式会社バンザイ

住所：〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

担当部署：営業企画開発部

電話番号：03-3769-6884

FAX：03-3456-4691

製造元：株式会社BTO

住所：〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東5-2-19

担当部署：商品企画部

電話番号：06-6302-5711

FAX：06-6302-5712

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分 3

皮膚感作性：区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 1（全身毒性）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2（血液系、肝臓）

（注）記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語：危険

危険有害性情報

H301 飲み込むと有毒

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H370 臓器の障害

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P321 特別な処置が必要である。

P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
P302 + P352 皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P330 口をすすぐこと。
P301 + P310 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。
保管
P405 施錠して保管すること。
廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
チオグリコール酸アンモニウム	5421-46-5	非開示	(2)-1355 (チオグリコール酸) (1)-391 (アンモニア)
界面活性剤	非開示	非開示	登録あり
テトラデセンスルホン酸ナトリウム	11066-21-0	0.1 - 0.9	(2)-2807
水	7732-18-5	非開示	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。
危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述
吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
応急措置をする者の保護
保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項
特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤
霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、散水、ハロゲン化物を使用すること。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
蒸気を吸入しないために風上に移動する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
火災の際には適切な呼吸器を着用する。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
少量の場合:吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
多量の場合:盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策
全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
床を漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
接触回避
「10.安定性及び反応性」を参照
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。
保管
安全な保管条件
施錠して保管すること。
安全な容器包装材料
製品の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置
管理指標
管理濃度、濃度基準値データなし
許容濃度
日本産衛学会の許容濃度データなし
ACGIH 許容濃度データなし
ばく露防止
設備対策
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 無色透明
臭い : わずかな特異臭
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点 : なし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 5.8
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度 : 1.05
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性
反応性
反応性データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
避けるべき条件データなし

混触危険物質
酸化剤
危険有害な分解生成物
一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物

11. 有害性情報
毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[製品]
区分 3, 飲み込むと有毒
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
区分3の成分を含み、加算式より50mg/kg≦ATEmix＜300mg/kg であることから区分3とした。
急性毒性(経皮)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
急性毒性(経皮) の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
急性毒性(吸入)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
急性毒性(吸入) の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
労働基準法:疾病化学物質
チオグリコール酸アンモニウム
皮膚腐食性/刺激性
[成分情報を用い加成方式を適用した分類根拠]
区分2の成分を含むが10%未満であり、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[成分情報を用い加成方式を適用した分類根拠]
区分2Aの成分を含むが10%未満であり、区分に該当しないとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
皮膚感作性
[製品]
区分 1A, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1Aの成分を1.0%以上含むことから区分1Aとした。
生殖細胞変異原性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
発がん性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
生殖毒性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分): 成分データを用いた分類根拠]
授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 1, 臓器の障害
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1(全身毒性)の成分を10%以上含むことから区分1とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分情報を用いた分類根拠]
区分2(血液系、肝臓)の成分を10%以上含むことから区分2とした。
誤えん有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 短期(急性)]
区分2の成分を含むが、加算法により区分に該当しないとした。
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 長期(慢性)]
データがなく分類できない。
残留性・分解性
[成分データ]
(チオグリコール酸アンモニウム)
急速分解性なし (BIOWIN) (出典: NITE)
生体蓄積性
[成分データ]
(チオグリコール酸アンモニウム)
log Kow: -2.85 (出典: NITE)
土壌中の移動性
データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
国連番号 : 2810
正式輸送名 :
その他の毒物、液体、有機物、N.O.S.
分類または区分 : 6.1
容器等級 : III
指針番号: 153
特別規定番号 : 223; 274
IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号またはID番号 : 2810
正式輸送名 :
その他の毒物、液体、有機物、N.O.S.
分類または区分 : 6.1

容器等級 : III
特別規定番号 : 223; 274

IATA (航空危険物規則書)
国連番号またはID番号 : 2810
正式輸送名 :
その他の毒物、液体、有機物、N.O.S.
分類または区分 : 6.1
危険性ラベル : Toxic
容器等級 : III
特別規定番号 : A3; A4; A137

環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

特別の安全対策
特別の安全対策データなし

国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称通知危険/有害物
2026/4/1 以降追加
ナトリウム＝アルケンスルホナート(アルケンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)及びナトリウム＝ヒドロキシアルカンスルホナート(アルカンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)並びにこれらの混合物
皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)
チオグリコール酸アンモニウム

化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ

て改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。